

# あけど亮太

将来への投資



## 30年度川越市議会三月定例会報告レポート

### ▼平成30年度三月定例会が閉会しました。

平成30年3月20日（火）に川越市議会三月定例会が閉会しました。三月定例会では平成30年度の一般会計予算（1134.8億円）を中心に数多くの議案が上程、審議され、最終日の採決において全議案可決通過いたしました。引き続き3月26日（月）には川越地区消防組合議会が開会され、あけど亮太は両議会において予算案に対して質疑を行い、平成30年度の予算執行上の行政運営にPDCAサイクルを活用した施策向上を提言しました。

正副議長が  
選出  
されました！

4月6日（金）に閉会した臨時議会にて小野沢康弘議員（やまぶき会）が議長に、山木綾子議員（立憲・民進党議員団）が副議長に選出されました。併せて、副市長に前埼玉県環境部長の穴戸信敏氏が選任されました。穴戸氏は二度目の川越市副市長就任、任期開始は4月10日（火）となります。

新体制のもと、市議会議員として今期最終年度も引き続き全力で取り組んでまいります。

### ① 川越地区消防組合の消防団員増加の取り組みについて（予算質疑）

#### 【現状】

毎年行っている「消防団員募集活動」はチラシ・ポスター・勧誘活動など、予算を投じて様々な方法でPRを行っている。

#### 【問題点の指摘】

入団者がどのPR活動をきっかけに消防団に入団してきたかが検証されておらず、PR活動の効果が不明となっている。

#### 【あけど亮太の提案】

新入団員に対して、入団の経緯を調査して、PR活動の効果を検証すべき。効果の高い手法は伸ばす、効果の低い手法は例年踏襲ではなく、改善策を検討することでより効果的なPRを行うべきではないか。

【結論】 新入団員へのアンケートを実施し、事業の検証（チェック）を行うことが決定しました！ 検証が行われる事で、それぞれのPR活動が精査され、今後は無駄のない効果的なPRが実施されます！



### ② 多世帯近居で子育て支援策の推進を！（一般質問）

#### 【現状】

待機児童が増加傾向にある為、働きたくても働けない家庭が数多く存在しており、女性活躍社会と逆行する現状にある。

#### 【問題点の指摘】

全国的に広がりつつある同居・近居支援。しかし、川越市では近居の定義すら定められておらず、支援体制が遅々として進んでいない。

#### 【あけど亮太の提案】

市内在住とするのか、直線距離で定めるのか、自治体によって近居の定義は異なる。川越市で子育て支援の側面で近居を推進するならば、川越市独自の近居の定義を設けるべきではないか。

【結論】 まずは検討会議から近居の定義策定に向けて検討を進める旨の答弁があり、小さいながらも近居支援の第一歩が進みました！



#### プロフィール

1981年2月20日（現在37歳） 川越市石原町生まれ、名細育ち  
川越市議会議員二期目 会派：政晴会  
図書室委員会 委員長 / 川越地区消防組合議会議員 / 保健福祉常任委員会 委員  
2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会 委員 / 議会運営委員会 委員  
社会教育委員 / 川越市少年補導員 / ファイナンシャル・プランナー  
（公社）川越青年会議所 / 川越市土地開発公社 理事 / JAPAN MENSA / 名細中学校PTA役員

#### 発行者

連絡先：川越市元町 1-3-1 6階 政晴会議員控室  
電話：090-4459-2915  
Email：kawagoe@akedo.info  
頒布責任者：川越市議会議員 明ヶ戸亮太

# 離婚した外国人への生活保護費の支給に異議あり！



生活保護とは憲法第25条で定められている通りその対象を「国民」と定めており、生活保護法でも支給対象を「日本人」と定めております。生活保護制度は日本人の税金で運用されている為、日本人を対象とするのは至極当然のことです。しかし、外国人も日本で生活をして税金を納めている為、支給対象として支援する必要がありますが、「永住、定住者」「難民認定者」「日本人と結婚している」などの外国人には例外的に生活保護が支給されております。あけど亮太も特定の外国人には生活保護による支援は必要であると考えます。しかし、川越市では離婚した外国人にも生活保護を支給しているばかりか、結婚の実態調査すら行っておらず、生活保護制度を悪用されれば不必要な外国人への生活保護が支給される現状にあります。そこで、離婚した外国人へは生活保護の支給を停止する事と併せて帰国支援の実施と、結婚による生活保護受給外国人の婚姻状

況の実態調査を求めています。

福祉制度（特に生活保護）は性善説に基づいて実施されているため、実施までには時間がかかりますが、**本当に支援を必要としている日本人への生活保護費を確保するためにも**、引き続き上記施策の実施を求めてまいります。

# eスポーツの推進で川越市からオリンピック輩出を！

2022年のアジア大会で正式種目に決定した「eスポーツ」。

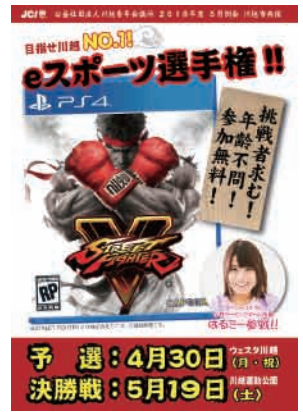
これからますます民間での活動が活発になることが予想される中、川越市でどのように民間の活動をサポートするのか一般質問を行いました。eスポーツの経済効果はこの3年間で約3倍に、更にはプロライセンスが発行されるなど日本国内でもeスポーツの制度は整いつつあり、2024年のパリオリンピックではメダル種目とする動きも活発化されております。

「でもテレビゲームだから...」と考えがちですが、既に世界の流れは「ゲーム＝競技」と認知されており、日に日に注目度は高まっております。あけど亮太は**川越市からオリンピックの輩出を目指して**、引き続きeスポーツの推進に努めてまいります！

※川越市内でも4月30日、5月19日に（公社）川越青年会議所主催で川越市共催事業として企画が実施されます。

詳細は以下URL、もしくは右記QRコードよりご確認ください。

[http://www.geocities.jp/kawagoe\\_esports/](http://www.geocities.jp/kawagoe_esports/)



# 冠水地域の内水対策&歩道改修に向けて設計予算が計上されました！

これまで一般質問や質疑などを等して訴え続けてきた下小坂地区の内水対策。平成30年度では基本設計の策定予算として1,600万円が計上されました。基本設計が終了した後は平成31年度に詳細設計の策定、平成32年度には念願のポンプアップ装置の設置に向けての工事着工が見込まれております。

これまで台風のたびに小畔川の水位が上昇、それに伴い河水の逆流を防ぐために排水口を閉じなくてはならない構造の為、道路は写真のような被害を被っておりました。内水被害解消に向け、一日も早い工事着工に向け、引き続き協議を続けてまいります。



県道沿いに伸びる狭隘な歩行者スペース、幅員はひとり一人分もない為に歩行者は横断歩道のない道路を渡る、または民地を抜けるなどするしかありません。

この課題に対して地域の方から頂いた要望をもとに担当課職員さんとこれまで長期的な協議を続けてまいりました。これまでも多くの地元の方々、議員が携わってきましたが、本年度、埼玉県との協議体制が整ったことで一定の方向性が示されました。

トラブルや事故が起きる前に歩行者スペース確保が実現されるよう引き続き協議を続けてまいります。



# 市政報告会開催のお知らせ

川越市議会三月定例会も終え、川越市平成30年度一般会計予算が審議通過いたしました。

つきましては、川越市の平成30年度の方向性を市民の皆様にお伝えすべく、下記の通り市政報告会を開催する運びとなりました。

ご多忙の折とは存じますが、お知り合いの方などお誘いあわせのうえ、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

**開催日：2018年5月13日（日）**

**開 会：16:30（受付16:15）～閉 会：17:50**

**会 場：名細市民センター 講座室**

（川越市小堤 662 番地 1）

※参加費無料。  
※どなたでもご参加いただけます。